

新教育課程における情報教育の位置づけをさぐる

～ 情報教育の小中学校連携の在り方を通して ～

金沢大学教育学部内留生 谷口 一登

研究の動機

- ・小学校6年間を見通した「情報リテラシー計画」を扱った学校は数多く見られるが、中学校との間で連携が取れていない
- ・教科書が改訂され、内容が情報教育に大きくシフトしてきた
- ・「情報教育」とは、「メディア機器を使った実践」と誤解されている面が多い。既存の教科書にどれだけ埋め込まれているのか

研究の内容と方法

小松市教委管轄の情報研究会（授業実践部会・小中連携部会）の中の、「小中連携部会」の取り組みと連携して行なう。

- ・「情報リテラシー育成カリキュラム」と題し、情報教育として洗い出す項目の選定
情報教育の目標と総合学習の目標は類似 → 総合の三領域を柱に
実践校の総合の流れも加味したもの
- ・小松市内採択の教科書より、洗い出し開始
教科書で補えなかった項目、不足しがちな項目は、総合学習や特別活動なども利用
- ・実際の小中学校で、完成した表をもとに実践を行なう（来年度）
一中学校一小学校（小松市立国府中学校・小松市立国府小学校で実践予定）
ゆくゆくは、一中学校多小学校の校区へと拡大したい

現状と今後の予定

小1～中3までの9年間の流れをまとめてみて

- ・普通に教科書を指導する中でも、かなり情報教育を扱う単元が埋め込まれている

↓

◎ただ単元を扱うのではなく、小中連携を意識した実践を！

- ・各学年の「つきたい力」は、階段状に積み上げられている

↓

項目ごとに見ると、抜けている学年や、扱いにバラつきがある学年も見られる

↓

果たして、教科書で扱わないものは、単純に総合として扱ってよいものか
各項目の重点項目は、どの学年に位置するのか

↓

◎まだまだ、この表の読み込みが必要である

- ・小中で、教科書会社のちがい … 扱い方の系統性は？

色々ご意見をお聞かせ下さい。

発表を見て、気づかれたこと、感想など以下へ…

石川県小松市立串小学校 谷口 一登

tanig@komatsu.nsk.ne.jp

工事中…



情報リテラシー育成カリキュラム

～ 学年別出現頻度 ～

目的プロセス	キーワード	具体的内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
発見する	課題探し	与えられた課題から、自分のやりたいことを選択する	2	4	8	3	1	3	5	5	1	
	計画作り	ターゲットから自分の課題を見つけ、計画を立てる(ウェブリテラシー)				1	7	8	4	5	3	
	課題解決活動	自ら課題を見つけ、見通しが持てる						2	3	6	3	5
収集する	人に聞く	道徳(家の人、友達、先生、地域の人など)に聞いて、情報を収集する	6	2	4	9	12	13	6	6	6	
		電話やFAXなどを使って、情報を収集する			3	3	5	5	2	3	2	
		アンケートや手紙を使って、情報を収集する			2	2	5	5	1	2	2	
		メールやTV会議システムなどを使って、情報を収集する					7	4	3	2	1	
	ICTアプリケーションを使う	Webやデジタルカメラ、フィルムカメラなどを使い、情報を収集する			2	2	7	6	1	1	1	
	本を使う	学級文庫や図書室、公立図書館などの本を使い、情報を収集する	1	3	6	1	9	12	7	6	3	
	新聞を使う	新聞から情報を収集する			1	2						
	CD-ROMを使う	資料、教材としてのCD-ROMを使い、情報を収集する			1	2	3	4	1	1		
	インターネットを使う	インターネットのWEBページから、情報を収集する				1	14	15	6	8	3	
	情報探し	集めた資料から自分の欲しい情報、必要な情報を選ぶ	1	1	3	1	7	10	6	5	4	
整理する	情報検討	課題解決のための多面的な資料になっているかを検討する					1	2	2	2	4	
	カード紐にして	カードや紙などを作り、比べたり、分類したりする(単純比較)	2	7	6	1	4		6		1	
	表・グラフして	表やグラフを作り、比べたり、分類したりする(相違比較)	3	1	10	8	5	8	4	4		
まとめ	情報の整理	集めた情報を集めた方法で保存、整理する(ポートフォリオなど)	1	1	1	6	5	6	4	2	3	
		集めた情報をメディアを使って保存、整理する(デジタルポートフォリオなど)					1					
発信する	短冊・手紙・紙芝居	短冊・手紙・紙芝居・保護書を作る	5	10	14	7	8	9	5	1	1	
	レポート・新聞	レポート・新聞を作る	5	7	1	9	5	8	13	7	3	
	ビデオやテープ	ビデオやテープ・DVDを作る					2	3	3	3		
	プレゼンテーション	プレゼンテーション用に資料を作る					3	4	3		3	
	WEBページ	WEBページを作る					1	3	1	1	1	
	身近な活動で	自分の気持ちや思いをいかに表現するかを表現する	1	2	1	2	1		3	4	4	
	表紙展・劇で	発表会や紙芝居、劇などで自分の思いを表現する	1	2		2		1	1	1	1	
	工夫ある表現で	伝える内容を意識し、工夫して表現する	3	8	1		2	7	6	5	3	
	情報手段を活用して	新聞、パソコン、プレゼンテーションなど様々な情報手段を活用して、効果的に自分の伝えたい内容を表現する		1	1		6	5	8	3	5	
	相手に	まとめたことを、人に伝える	4	10	6	4	2	2	4	3	4	
	実物・資料を提示して	実物や関係する資料を提示しながら伝える	2	1	4	3	3	5	1	2	4	
	相手を意識して	相手に分かりやすいように、理由や相手を意識して伝える					4	5	1	1	4	
	メディアを工夫して	メディアの特性を生かしながら、相手に伝える					6	4	3	5	4	
	グループで	グループや学級全体の中で、発表し合うことができる	2	6	2	5	2	6	1		2	
パネルディスカッションなどの方法で	パネルディスカッション、シンポジウム、模擬討論、パネルセッションなど様々な方法を情報発信することができる					3	4	3	2	3		
TV会議・テレビ演説	TV会議や電子掲示板を使って完成させる											
情報交換と深化	情報交換し、見方や考え方を広げたり考えを深めたりすることができる					2	3	2	3	3		
評価	それぞれの課題解決プロセスにおける情報活用手段についてより深く考えることができる											
情報表現の発展	情報の表現法	様々な「情報」を効果的に伝えるための表現法を模索する(文章、音声、画像などのメディアの表現法、表式、図、表、フローチャートなどの情報の表現法)							3	2	6	
	情報整理の方法	文字・数値・画像などのデータを、効果的に加工・整理する方法を理解する							5	4	6	
	情報の見方・考え方やモデル化の方法	新聞・雑誌・図鑑などのデータを、効果的に読み取り、分析するための設計の見方・考え方やそのための必要となる方法を理解する							3	2	1	
	ジュレーション手法	与える条件によって結果がどのように変化するか、見通しをたてる方法を理解する							1	1	2	
	人間の認知の特性	情報を正確かつ効果的に伝えるうえで役立つ、人間の感覚、知覚、記憶、思考などの特性を理解する										
	身近な情報技術の仕組み	電子製品の計画・開発技術やインターネットなどの身近な情報技術の仕組みを理解する							2		5	
	情報手段の特性	情報手段の機能の分類や長所・短所などを理解する							4		4	
	情報の果たす役割(個人・社会)	知らせるよさ	知らなかったことを知らせる			2	3	1	1			
		伝えるよさ	事実を伝える、気持ちを伝える				2	1	2	1	1	
		豊かな生活	情報により生活が豊かになる				2	1	2			
情報共有	情報共有	情報は共有することができる			2	1	1	1	1	1		
	伝えるよさ	事実や気持ちを伝えることができる		1		2	1	2				
	リアルタイム	メディアによってリアルタイムに情報をやりとりすることができる				2	1	1	2			
価値観・文化	価値観・文化	メディアによって共通あるいは異なる価値観・文化を築くことができる							1			
	マナー・儀・礼	メディア機器が持たせてくれることを知り、マナーを守って使うことができる								1		
	情報の取捨選択	日常生活の中で、必要な情報と不必要な情報があることを知る			1							
情報モラル	受け手の気持ち	情報発信に配慮し、受け手の気持ち、権利を守ることが出来る				2		2	1			
	ネット	インターネットやメールを通して、相手へのネットワーク上のエチケットを知り、守ることが出来る				1		2	1	1		
	ネット上の情報の取捨選択	インターネット上の情報の信頼性、その長所、短所、信頼性を学び、情報の取捨選択ができる								1		
	著作権・肖像権	著作権や肖像権についてその意味を知り、守るという意識を育てる			1			1	1	1		
	プライバシー	個人情報の大切さに気づき、個人のプライバシーを尊重することができる			1			1	2	2		
	情報発信・共有	情報の発信や共有する方法を知り、情報を守り取り守る上で責任をもちることができる			1					1		
	発信による誇り	情報の発信を通して、自分達の学校の地域に誇りをもつことができる								1		
有害対策	インターネットの世界の中にならなくてはいけないことを知り、有害な情報(有害)に対して的確な対応ができる									1		

このカリキュラムの表は、小松市採択の教科書(下記参照)を使用して洗い出したものです。また、学年ごとの数字は、それぞれの項目において、色々な教科書の教科書が扱った総数です(つまり、数が多ければ多いほど、多教科または多単元で扱われているということになります)。

- | | | | |
|-------|----------|-------|--------|
| 国語 | … 光村図書 | [中学校] | 東京書籍 |
| 社会 | … 東京書籍 | | 帝国書院 |
| 算数・数学 | … 啓林館 | | 東京書籍 |
| 理科 | … 啓林館 | | 啓林館 |
| 英語 | … | | 開隆堂 |
| 生活 | … 光村図書 | | |
| 音楽 | … 教育芸術社 | | 教育芸術社 |
| 図工・美術 | … 日本文教出版 | | 日本文教出版 |
| 技術 | … | | 東京書籍 |
| 家庭 | … 開隆堂 | | 東京書籍 |
| 保健・体育 | … 学研 | | 東京書籍 |

